

鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
平成30年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議の意見

- A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
- B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
- C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

4つの基本目標に対する評価 (積極・適応戦略)	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力 を「みがく」	4 ひと・まちを 多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合計	(参考) 29年度分	
	A	A	A	A	(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進	(4)連携中枢 都市圏の 形成			
施策に 対する 評価	A	8	7	5	6	1	1	1	1	30	28
	B	1	2	1	1	0	0	1	0	6	8
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	9	6	7	1	1	2	1	36	36	

評価(数値目標・KPI)

- a：十分に達成されている
- b：概ね達成されている
- c：あまり達成されていない

(参考)数値目標・KPIの評価

4つの基本目標 (積極・適応戦略)	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力 を「みがく」	4 ひと・まち を多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合計	(参考) 29年度分	
	数値目標	c	a	a	a	(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進			(4)連携中枢 都市圏の 形成
KPI	a	5	5	3	5	1	1	1	1	22	22
	b	1	2	2	1	0	0	0	0	6	6
	c	3	2	1	1	0	0	1	0	8	8
合計	9	9	6	7	1	1	2	1	36	36	

○ 数値目標・KPIの評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

平成30年度実績に係る「検証会議の意見」

<p>&lt;摘要&gt;(1)数値目標・KPIの評価</p> <p>a : 十分に達成されている</p> <p>b : 概ね達成されている</p> <p>c : あまり達成されていない</p>	<p>(2) 検証会議の意見</p> <p>A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである</p> <p>B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある</p> <p>C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
			しごとで活力を「つくる」の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>(2)地域産業の競争力強化(分野別取組)</p> <p>(3)若い世代をはじめとする雇用機会の拡大</p>	<p>事業所数</p> <p>従業者数</p> <p>※ともに28年経済センサスより</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 28,317</td> <td>29,500</td> <td>事業所</td> </tr> <tr> <td>(H26) 278,415</td> <td>283,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H26) 28,317	29,500	事業所	(H26) 278,415	283,000	人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27,279 *</td> <td>-87.7%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>274,569 *</td> <td>-83.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	27,279 *	-87.7%	c	274,569 *	-83.9%	<p>数値目標「事業所数」及び「従業者数」については、ともに基準値を下回っており、あまり達成されていない。これは、全国・県においても同様の状況にあり、市内で大半を占める小規模の事業所の減少等が影響していると考えている。</p> <p>生産性の向上や商品・サービス等の高付加価値化、国内外への販路拡大を図るため、新事業・新産業創出の支援やものづくり産業、農林水産業などの活性化に取り組み、地域産業の競争力強化が順調に進められたが、一方で、経営改善の支援や人材の確保、商業・サービス業の活性化にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p> <p>また、創業・第二創業への支援や企業立地の推進、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組むことで、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大が順調に図られている。</p>	<p>引き続き、現状の取組を推進すべきであり、施策の推進にあたっては、①それぞれの取組の成果がしごとで活力を「つくる」という基本目標の達成に結び付くよう、全体ビジョンを共有し、関係機関も含めて連携して取り組んでいただきたい。</p> <p>数値目標については、全国的に減少傾向にあり、必ずしも施策による効果を反映したものとはなっておらず、基本目標に向けて、あまり達成されていないことから、②次期総合戦略においては、全国的な傾向や社会情勢を考慮しながら、数値目標の設定を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値(H31=R元)	単位																						
(H26) 28,317	29,500	事業所																						
(H26) 278,415	283,000	人																						
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																						
27,279 *	-87.7%	c																						
274,569 *	-83.9%																							

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標(KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																			
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																					
1	しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>①新事業・新産業創出の支援</p>	<p>新たなビジネス展開に取り組む事業者数</p> <p>本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 8</td> <td>105</td> <td>事業者(5年間)</td> </tr> <tr> <td>(H28) 36</td> <td>60</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H26) 8	105	事業者(5年間)	(H28) 36	60	%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86</td> <td>81.9%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	86	81.9%	b	44	33.3%	<p>KPIの進捗については、概ね順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、健康などの分野における事業化支援(事業化後のサポートを含む)や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。</p>	<p>専門家による事業化支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていく。</p> <p>オープンデータについては、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。</p>	<p>KPIについては、新事業・新産業の創出の支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①補助金活用後のフォローのほか、②オープンデータの利用者等の意見を反映していただきたい。</p>	A
基準値	目標値(H31=R元)	単位																								
(H26) 8	105	事業者(5年間)																								
(H28) 36	60	%																								
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																								
86	81.9%	b																								
44	33.3%																									
2	しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>②経営改善の支援</p>	<p>産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 1,317</td> <td>1,350</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H26) 1,317	1,350	件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,259</td> <td>93.3%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	1,259	93.3%	c	<p>KPIの進捗については、基準値を下回り、あまり達成されていない。これは低金利政策により民間金融機関の中小企業向け貸出が伸びているためであると考えている。</p> <p>30年度の取組状況としては、創業支援資金の融資限度額を引き上げるとともに、女性・若者(30歳未満)・シニア(55歳以上)に対する保証料補助の拡大を行った。また、金融機関個別訪問等を通じて、経営改善の支援の取組みについて周知広報を行ったほか、創業スキル関連講座、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援を充実させた。</p>	<p>令和元年度は、より円滑な資金調達を支援するため、一部資金の融資利率を引き下げるとともに、保証料補助拡大の対象となるセミナー等の追加や、新事業展開支援資金の融資対象者の拡大を行う。</p> <p>今後も引き続き、事業者が利用しやすい制度の設計や周知広報に努めるとともに、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援に取り組む。</p>	<p>KPIについては、経営改善の支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①民間金融機関から貸し出しを受けにくい中小企業が利用しやすい仕組みづくりと、②同機関との連携強化などによる広報に取り組むほか、③事業承継への支援に引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>また、④次期総合戦略においては、民間金融機関と連携した取組を評価できるKPIの設定などを検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値(H31=R元)	単位																								
(H26) 1,317	1,350	件																								
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																								
1,259	93.3%	c																								

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)															
3	1 しごとで活 力を「つくる」	(1)地域産業の競争力強化(業種横断的 取組)  ③人材の確保	首都圏等からのクリエイティブ人材の移 住者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>40</td> <td>人 (4年間)</td> <td>17</td> <td>42.5%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	40	人 (4年間)	17	42.5%	c	<p>KPIの進捗については、28年度7人、29年度4人、30年度6人で、単年度あたりの目標値(10人)を下回っており、あまり達成されていない。これは、市の取組の情報がクリエイティブ人材に十分に届いていないことや、移住の決断には時間を要することが原因と考えている。30年度の取組状況としては、本市ゆかりのクリエイターの人脈などを活用し、戦略的な情報発信を行うとともに、UIJターンイベントやお試し移住の実施、補助対象者を拡大した移住補助金の交付などにおいて、本市独自の取組を行い、移住推進室とも連携を図りながら、クリエイティブ人材の誘致に取り組んだ。</p> <p>また、県外の合同企業説明会等への参加に対する助成を通じて、中小企業の人材確保の支援を行ったほか、産学官連携による会議を開催し、若者の地元定着等に向けた取組の推進を図った。</p>	<p>引き続き、UIJターンイベントやお試し移住、移住補助金の交付などを行うほか、新たにクリエイティブ関連情報サイトでのWEB広告記事やmark MEIZANなどを積極的に活用した戦略的な情報発信を行い、クリエイティブ人材の誘致やUIJターン人材の確保支援に取り組む。</p> <p>また、産学官連携による会議を開催し、若者の地元定着等の推進に取り組むほか、令和元年度から、地元の企業等が一堂に会し、中学生をはじめとする若い世代への企業等の魅力発信や情報提供を行うイベントを関係機関と連携して開催する。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、情報発信やお試し移住などの取組が実際の移住につながらず、人材の確保に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>施策の推進にあたっては、①クリエイティブ人材の雇用等の受け皿となる事業者の認識強化、②連携中枢都市圏での取組や③移住にこだわらない進め方などを検討するほか、④若者の地元定着について、中高生をはじめ、若い世代を対象とした企業の魅力発信のイベントの実施に中長期的視点で継続的に取り組むべきである。</p>	B
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
—	40	人 (4年間)	17	42.5%	c															
4	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別取 組)  ①商業・サービス業の活性化	空き店舗等の再生などによる新規就業者 数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>40</td> <td>人 (4年間)</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	40	人 (4年間)	0	0.0%	c	<p>KPIの進捗については、未だ実績がなく、達成されていない。これは、人材の育成から空き店舗等の再生に至るには一定の時間を要するためであると考えている。</p> <p>30年度の取組状況としては、商業・サービス業のさらなる活性化を図るため、商店街等に対して各種支援を行ったほか、空き店舗等の再生を担う人材を育成するため、リノベーションスクールを開催した。また、リノベーションによるまちづくりの考えをオーナーにも知ってもらうため、スクール等の広報を建築士会や宅建協会にも行った。そのほか、30年度から新たに、創業者と空き店舗のマッチングにより空き店舗の解消を図る創業者テナントマッチング事業を開始した。</p>	<p>引き続き、商店街等への各種支援や街なかリノベーション推進事業、創業者テナントマッチング事業により、商業・サービス業の活性化や空き店舗等の再生を担う人材の育成、空き店舗の解消を図る。</p> <p>令和元年度は、これまでのリノベーションスクールの修了生等を対象として、事業計画を作成する場を設け、空き店舗等の有効活用を促進する。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、効果が出てくるのには時間がかかることから、商業・サービス業の活性化に向けて、達成されていない。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①リノベーションによるまちづくりの考え方の普及や②商店街をはじめ関連する団体との連携のほか、③創業者テナントマッチング事業の利便性向上に努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
—	40	人 (4年間)	0	0.0%	c															
5	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別取 組)  ②ものづくり産業の活性化	本市の事業活用による商談成約件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11</td> <td>255 件 (5年間)</td> <td>233</td> <td>91.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	11	255 件 (5年間)	233	91.4%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、国内外の展示会への出展経費等に助成するとともに、各種アドバイザーを派遣し、経営力や販路拡大などに関する指導等を行った。</p>	<p>引き続き、本市中小企業者等への積極的な周知広報を実施し、国内外での展示会出展を検討している企業の後押しを行う。</p>	<p>KPIについては、ものづくり産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①中小企業者等への販路拡大支援や②人材育成につながるアドバイザー派遣の活用を促進していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	11	255 件 (5年間)	233	91.4%	a															
6	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別取 組)  ③農林水産業の活性化	本市支援による新規就農者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>5</td> <td>25 人 (5年間)</td> <td>33</td> <td>132.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	5	25 人 (5年間)	33	132.0%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、新商品開発等に支援し、新たな加工品づくりを促進するとともに、就農相談や技術習得に対する支援のほか、農業次世代人材投資資金の交付により、青年就農者の経営安定に努めた。</p> <p>また、農協と連携して、共同販売への加入や直売所への出荷を支援し、新規就農者の販路開拓が図られた。</p>	<p>加工や販売などの専門家の助言や、県内外の事例を紹介するなど、6次産業化に取り組む意欲がある生産者を支援し、6次産業化を促進する。</p> <p>また、本市の農林水産物等のPRを生産者団体等と連携して県内外で行い、販路の拡大を行う。</p> <p>技術習得のために、市民農業塾など研修制度の充実や指導農業士等の先輩農家から指導を受けられる機会の設定に努め、関係機関と連携し、新規就農者等の確保・育成に取り組む。また、新規就農者が定着できるように引き続き現状把握等に努め、助言・指導を行う。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、農林水産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①6次産業化や流通・販路拡大のサポートを通じた事業の安定や就農者の定着への支援のほか、②経営の効率化につながるスマート農業に関する支援を検討していただきたい。</p> <p>また、③KPIについては、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	5	25 人 (5年間)	33	132.0%	a															
7	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機会の 拡大  ①創業・第二創業への支援	本市支援による新規創業者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>36</td> <td>180 者 (5年間)</td> <td>143</td> <td>79.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	36	180 者 (5年間)	143	79.4%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況は、創業スキル関連講座等の開催を通じて新規創業への支援を着実に推進するとともに、ソフトプラザがこしまをクリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」として整備した。また、創業支援者に対し、追跡調査を実施した。</p>	<p>ソーホーがこしまやmark MEIZANにおいて、セミナー等を実施するとともに、創業後における追跡調査や支援体制を構築するなど、新規創業者等に対する支援に努める。</p>	<p>KPIについては、創業・第二創業への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①mark MEIZANの利用状況やビジネスマッチングに結びついた実績等の把握、②新規創業者の追跡調査や③大学との連携強化などに取り組んでいただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	36	180 者 (5年間)	143	79.4%	a															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)														
8	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機会の 拡大  ②企業立地の推進	企業立地件数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>7</td> <td>35 件 (5年間)</td> <td>27</td> <td>77.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	7	35 件 (5年間)	27	77.1%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。 30年度の取組状況としては、首都圏における展示会へのブース出展や企業立地促進補助制度のPR、市内企業に対する訪問の強化など、企業立地を推進する活動を積極的に行うとともに、企業立地アンケート調査を実施した。 また、連携中枢都市圏4市と連携したPRや、立地企業の雇用確保を支援するためのコールセンター見学会などを実施した。	令和元年度は、職員増によるさらなる体制強化を図るとともに、市内製造業における新規雇用者要件の緩和の周知を図る。 また、引き続き積極的な企業訪問を行うとともに、補助制度や、都市の魅力など本市の強みをPRするなど、企業立地のさらなる推進に向けた取組を進める。	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①企業立地後のフォローや②就業者の定着状況の把握に努めるほか、③連携中枢都市圏及び県全体の底上げに資するような視野を持って取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)														
(H26)	7	35 件 (5年間)	27	77.1%	a														
9	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機会の 拡大  ③若者、女性、高齢者等の活躍促進	本市の助成金を活用して雇用される人数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>426</td> <td>2,100 人 (5年間)</td> <td>1,610</td> <td>76.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	426	2,100 人 (5年間)	1,610	76.7%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。 30年度の取組状況としては、経営者・管理職向けのセミナーを新たに実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深め、その取組みを促進した。 また、シルバー人材センターの会員数が過去最高となるなど、高齢者の就労機会の拡大が図られた。	引き続き、助成金の周知広報に努めるとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性管理職を育成、応援するセミナーを継続的に実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の活躍促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①経営者・管理職向けセミナーの継続的な実施や②その成果の「見える化」のほか、③労働者に対する就労後の支援などに取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)														
(H26)	426	2,100 人 (5年間)	1,610	76.7%	a														

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
			結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)														
結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 (2)結婚の希望の実現 (3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (4)子育て支援の充実 (5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進	出生数 ※29年人口動態統計より <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25) 5,647</td> <td>27,000</td> <td>人 (5年間)</td> <td>16,265 *</td> <td>60.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H25) 5,647	27,000	人 (5年間)	16,265 *	60.2%	a	数値目標「出生数」については、順調に推移している 少子化の大きな要因と言われる「未婚化・晩婚化」を解消するため、就業支援や貧困対策などにより若い世代の経済的な安定に取り組むとともに、若者への意識啓発を図りながら、結婚を希望する人々に対する支援の充実に取り組んでいる。 また、「子育てをするなら鹿児島市」を目指す取組を継続し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に努め、ワーク・ライフ・バランスの普及促進を図るなど、子育て世帯の様々なニーズを踏まえた施策が順調に進んでいるが、一方で、待機児童の解消にかかるKPIについては、あまり達成されていない。	待機児童の解消については、計画期間の延長を踏まえたKPIの見直しを検討するとともに、引き続き、個人の選択を尊重しつつ、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」ことができるよう各方面から支援する取組を展開する。	数値目標については、結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①保育士や児童クラブの支援員の確保について早急に対応するとともに、②結婚・出産・子育てのそれぞれの取組が相互に好影響を与え、基本目標を達成するという全体ビジョンを共有し、連携して取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)													
(H25) 5,647	27,000	人 (5年間)	16,265 *	60.2%	a													

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標(KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ①若者の就業支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 134</td> <td>700</td> <td>人 (5年間)</td> <td>406</td> <td>58.0%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26) 134	700	人 (5年間)	406	58.0%	b	トライアル雇用支援金を活用して雇用される若年者等の人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>406</td> <td>58.0%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	406	58.0%	b	KPIの進捗については、概ね順調に推移している。 30年度の取組状況としては、トライアル雇用終了後も継続雇用している事業主に対して支援金の支給を行ったほか、ものづくり分野における事業所とのマッチング支援や高校生を対象とした就職セミナー、学生等を対象とした起業セミナーの開催など、若者の就業支援、起業支援に着実に取り組んでいる。	引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組むとともに、トライアル雇用支援金については、直近の雇用情勢や国の助成金の動向も踏まえながら、周知広報等を通じて利用促進に努める。 また、若者の職場定着については、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めていくとともに、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。	KPIについては、若者の就業支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①トライアル雇用支援金制度を継続し、丁寧な分析による効果的な運用に努めるとともに、②若者の地元就職等に向けた戦略的な取組を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26) 134	700	人 (5年間)	406	58.0%	b																				
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																							
406	58.0%	b																							
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ②貧困の世代間連鎖の解消 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>310</td> <td>人 (5年間)</td> <td>201</td> <td>64.8%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	310	人 (5年間)	201	64.8%	b	就労支援した若者等の就職者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>201</td> <td>64.8%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	201	64.8%	b	KPIの進捗については、概ね順調に推移している。 「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワンストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。母子家庭等自立支援事業では、医療事務講座を実施し、技術習得の機会を提供した。 子どもの生活に関するアンケート調査の結果を踏まえ、新たにひとり親家庭等ガイドブックを作成し、配布したほか、庁内関係課と連携し、取組の検討を進めた。	「生活・就労支援センターかごしま」によるワンストップでの支援体制を充実するとともに、令和元年度より子ども学習サポート事業の拡充、生活困窮者自立支援事業における家計改善支援事業や新たにひとり親家庭等向け相談会を実施することとしている。 引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。	KPIについては、貧困の世代間連鎖の解消に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①アンケート等を通じたひとり親家庭の現状把握やニーズに応じた支援のほか、②就業講習会の周知広報・充実、③トライアル雇用支援金制度との情報共有を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
—	310	人 (5年間)	201	64.8%	b																				
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																							
201	64.8%	b																							
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ①次世代を担う若者への意識啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>1,600</td> <td>人 (4年間)</td> <td>1,756</td> <td>109.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	1,600	人 (4年間)	1,756	109.8%	a	ライフデザインセミナー参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,756</td> <td>109.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	1,756	109.8%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 30年度の取組状況としては、ライフデザインセミナー事業及び拳式プロデュース事業を、大学・高校・企業等と連携して実施した。ライフデザインセミナー前後に、アンケートを実施し、参加者の意識変化の把握を行った。	引き続きライフデザインセミナー事業・拳式プロデュース事業を推進し、新社会人を含むより幅広い若年層への意識啓発に努める工夫をし、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。	KPIについては、次世代を担う若者への意識啓発に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①男子学生や新社会人等の若年層が参加しやすい工夫のほか、②ユーザー視点でのフィードバックが期待できるアンケート実施を他の取組においても検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
—	1,600	人 (4年間)	1,756	109.8%	a																				
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																							
1,756	109.8%	a																							

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)															
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ②結婚への支援	婚活事業への参加者の満足度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>90</td> <td>%</td> <td>83.4</td> <td>92.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	90	%	83.4	92.7%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。 30年度の取組状況としては、出会い・ふれあい企業対抗運動会に加え、新たに出会いサポートイベント(謎解き婚活イベント)を開催したほか、結婚相談所の運営を通じて出会いの場を提供した。また、新婚世帯等向けに、市営住宅の優先入居を実施した。</p>	<p>引き続き出会い・ふれあい企業対抗運動会や、出会いサポートイベントを開催し、出会いの場の提供に努めるとともに、結婚相談所の周知広報や、新たに婚活応援セミナーを開催するなど、利用促進と満足度の向上に努め、結婚を希望する方の婚活をサポートする。また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。</p>	<p>KPIについては、結婚への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①民間の婚活事業への支援について、引き続き検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
—	90	%	83.4	92.7%	a															
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	妊娠出産について満足している者の割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>84.1</td> <td>%</td> <td>86.8</td> <td>102.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H27)	84.1	%	86.8	102.1%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。 母子保健支援員の配置や母子保健サポーターの活動開始など子育て世代包括支援センターの体制整備後、ノウハウも蓄積してきており、母子保健に関する他の事業と併せて、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいる。 また、新たに産婦健康診査事業に取り組むとともに、不育症治療に係る費用を助成した。</p>	<p>子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、産後早い時期での産婦健康診査を実施するなどして、地域での子育て支援の充実に取り組む。 また、令和元年度から不妊専門相談センター設置事業に取り組む、さらなる支援の充実に図る。</p>	<p>KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①妊産婦に対するメンタル面のケアのほか、②KPIの調査時期や満足していない者の理由などの把握を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H27)	84.1	%	86.8	102.1%	a															
15	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ①子育て支援施設の整備・充実	保育所等の待機児童数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>47</td> <td>人</td> <td>158</td> <td>-236.2%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	47	人	158	-236.2%	c	<p>KPIの進捗については、29年度252人より大きく減少したものの、保育需要の増加等の理由により待機児童数が依然として解消には至っていないことから、あまり達成されていない。 30年度の取組状況としては、親子つどいの広場などでの年間8,000件を超える各種相談受付や29年度に改定した保育所等整備計画に基づく定員520人分の整備を図った。 保育士・保育所支援センターにおいては、マッチング数131件に対して採用決定者121人、うち保育所等に勤務していない者は69人で、潜在保育士の掘り起こしに成果を挙げている。 保育士等の処遇改善については29年度に引き続き職員の経験年数や技能等を踏まえ月額5千円～4万円の賃金改善等に取り組むとともに、保育士給与等に確実に反映させるため、30年度から確認監査を開始した。</p>	<p>子育て支援施設の整備・充実については、保育所等整備計画(改定版)により、保育需要の高い地域を重点に保育所等の整備を進めるほか、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の確保に加え、保育士確保に係る意見交換会や保育士養成校の学生参画による保育士確保事業を行うなど、早期の待機児童解消に向けてハード・ソフトの両面から積極的に取組を進めていく。 また、保育士等の処遇改善については令和元年度に、全職員を対象に月額約3千円の賃金改善を行うこととしている。 そのほか、地域の子育て支援機能の充実に向け、親子つどいの広場の運営や各種取組を引き続き進めていく。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、保育士確保の困難さから、子育て支援施設の整備・充実に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①保育・幼児教育無償化による待機児童の動向に適切に対応するとともに、②広報紙等を通じた保育士の人材確保、③労働環境の改善やケアの充実に努めるべきである。 また、④KPIについては、より条件を絞った設定や女性の社会復帰促進などの成果を測るためのKPIの追加を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	47	人	158	-236.2%	c															
16	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ②放課後における児童の健全育成	児童クラブの待機児童数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>171</td> <td>人</td> <td>181</td> <td>-5.8%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	171	人	181	-5.8%	c	<p>KPIの進捗については、あまり達成されていない。なお、27年度から対象児童が小学6年生までに拡大されたことから、基準値(低学年児童の待機児童数)と比較すると実績値が下回っているが、施設整備等への取り組みにより、待機児童数は29年度の229人(低学年:103人、高学年:126人)から181人(低学年:72人、高学年:109人)に減少した。 30年度においても、児童クラブの計画的な設置を進めるとともに、処遇改善や支援員等の確保に向けた支援を行った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、新たに20校で放課後子ども教室を開設した。</p>	<p>児童クラブについては、現在の待機児童の状況や就学児童数の見込み等から今後の利用希望児童数を分析し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間による設置など、更に整備を進める。 また、支援員等の処遇改善に努めるとともに、引き続き、支援員等の確保に向けた支援に取り組む。このほか、放課後児童支援員資格取得の促進や、児童の育成支援に必要な研修の実施にも積極的に取り組む。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、放課後子ども教室を整備していく。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、対象学年の拡大により、放課後における児童の健全育成に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、引き続き、①支援員の処遇改善や、②地域と連携した人材確保などのソフト面の取組を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	171	人	181	-5.8%	c															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)															
17	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実  (3)子育て世帯への経済的支援	出生数に占める第3子以降の割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25)</td> <td>19</td> <td>%</td> <td>19.7 *</td> <td>70.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H25)	19	%	19.7 *	70.0%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、多子世帯への助成や就学・通学の援助など、経済的負担軽減を実施するとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。</p>	<p>今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。</p> <p>また、子ども医療費の助成については、県の補助事業であることから、これまでも県に対して、現物給付方式の導入等について要望してきたが、今後も引き続き、義務教育である中学3年生までの児童・生徒を対象として、所得にかかわらず、医療費の負担軽減を図り、現物給付方式を導入することを要望していく。</p>	<p>KPIについては、子育て世帯への経済的支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①子ども医療費助成の現物給付方式の導入を積極的に進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H25)	19	%	19.7 *	70.0%	a															
18	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R円)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>472</td> <td>人 (5年間)</td> <td>1,738</td> <td>115.9%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	472	人 (5年間)	1,738	115.9%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、引き続き、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。</p> <p>また、イクボス推進会議を開催し、イクボス推進同盟加盟数の増加に努め、ワーク・ライフ・バランスの先進事例や他企業等の取り組みに関する情報の共有を行った。</p>	<p>引き続き、男女共同参画情報誌の発行や労働局など関係機関と連携したセミナーの開催など、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図るとともに、アドバイザーの派遣による具体的な取組支援等に努める。</p> <p>また、鹿児島市イクボス推進同盟の参加企業・団体の増加を図り、イクボス推進会議を開催するとともに、イクボス推進同盟の加入による企業のメリットを広く周知する取組を検討していく。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①経営者等へのセミナーやアドバイスに引き続き取り組むとともに、②イクボス推進同盟参加企業等の加盟後の取組を広く発信するなど加盟メリットの充実を検討していただきたい。</p> <p>また、③ワーク・ライフ・バランスの推進の成果を測るためのKPIの追加についても検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R円)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)															
(H26)	472	人 (5年間)	1,738	115.9%	a															

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
			まちの魅力を「みがく」の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)														
まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 (2)まちなかのにぎわい創出  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 336</td> <td>375</td> <td>万人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	(H26) 336	375	万人	宿泊観光客数  <table border="1"> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> <tr> <td>410.0</td> <td>189.7%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	410.0	189.7%	a	<p>数値目標「宿泊観光客数」については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>都市の魅力にさらなるみがきをかけるため、食の都づくり、歴史や自然等を生かした観光の振興、花と緑の回遊空間づくり、潤いのある都市景観の形成などに取り組み、鹿児島オリジナルの魅力の向上が順調に図られた。</p> <p>また、新たな都市拠点の形成などにより、まちなかのにぎわい創出が順調に進められたが、一方で、集客力・回遊性の向上にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p>	<p>計画期間の延長を踏まえて、数値目標の見直しや、集客力・回遊性の向上にかかるKPIの見直しを検討するとともに、引き続き、“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”を兼ね備えたまちの創造を目指し、まちの魅力を「みがく」取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、まちの魅力を「みがく」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①空き店舗等のリノベーションと連携した取組や豊富な食の魅力のPR、外国人観光客向けの整備の充実などを通じて、中心市街地の集客力・回遊性を向上させ、宿泊観光客数のさらなる増加に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、②次期総合戦略においては、国際情勢の動向等を注視しながら、数値目標の設定を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位																
(H26) 336	375	万人																
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																
410.0	189.7%	a																

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)														
19	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ①食の都づくり  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>4</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	—	4	件 (5年間)	民間主体の新たな食のイベント数  <table border="1"> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	4	100.0%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、食品関連事業者の育成支援について、新商品開発に対する補助金や商談会に関するセミナーの開催等により、商品開発や販路開拓等が促進された。</p> <p>また、民間団体等が実施する“食”のイベント(2事業)に対して引き続き支援を行ったほか、新たに2事業を選定し、“食の都”づくりや、まちなかのにぎわい創出を促進した。</p>	<p>食品関連事業者の育成支援については引き続き取り組み、新商品開発等を促進していく。</p> <p>食のイベントの拡充・促進については、3件のイベントに対し引き続き支援を行うとともに、来場者属性の把握・分析について実施団体に働きかける。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、食の都づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①食のイベントにおいて、アンケート調査の義務付け等による来場者の属性把握・分析や②育成支援する食品関連事業者との連携、③鹿児島ならではの特色のアピールを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位																	
—	4	件 (5年間)																	
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																	
4	100.0%	a																	
20	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ②歴史、自然等を生かした観光の振興  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 950</td> <td>1,050</td> <td>万人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	(H26) 950	1,050	万人	入込観光客数  <table border="1"> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> <tr> <td>1,019.4</td> <td>69.4%</td> <td>b</td> </tr> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	1,019.4	69.4%	b	<p>KPIについては、概ね順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、いずれの取組も本市の観光振興に資するものとして、順調に進捗している。特に明治維新150周年や大河ドラマに関連する事業については、大河ドラマ館の設置・運営やイベントを行い、観光客等のおもてなし向上を図った。4回目開催の「鹿児島マラソン」では、本市の魅力を全国に発信でき、宿泊観光客の増や経済波及効果が得られるなど、交流人口の拡大や地域経済の活性化に効果をもたらした。</p>	<p>明治維新150周年や大河ドラマ「西郷どん」で注目された歴史や自然、食といった本市固有の魅力の発信に加え、新たに、ラグビーワールドカップ2019やかごしま国体などを追い風に、スポーツの力の活用と、近年急速に拡大するインバウンド対策を柱に、交流人口の増を図ることで、まちなかのにぎわいを維持し、地域経済の活性化につなげる。</p>	<p>KPIについては、歴史、自然等を生かした観光の振興に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①明治維新150周年のレガシーを生かすほか、②離島を含めた県内各地と連携し、ストーリー性を持たせる周遊ルートづくりやアピールの仕方を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位																	
(H26) 950	1,050	万人																	
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																	
1,019.4	69.4%	b																	
21	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ③花と緑の回遊空間づくり  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H27) 7.62</td> <td>7.77</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	(H27) 7.62	7.77	m <sup>2</sup>	都市公園の市民一人当たり面積  <table border="1"> <tr> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> <tr> <td>7.83</td> <td>140.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	7.83	140.0%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、いずれの取組も概ね計画通りに進捗している。</p>	<p>計画、設計、工事と各段階において関係機関と連携を図りながら、計画的な事業進捗に努める。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、花と緑の回遊空間づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①南国・鹿児島ならではの植生を生かしたおもてなしの工夫を検討していただきたい。</p> <p>また、②KPIについては、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位																	
(H27) 7.62	7.77	m <sup>2</sup>																	
実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																	
7.83	140.0%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
22	3 まちの魅力 を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上  ④潤いのある都市景観の形成	景観形成重点地区	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>2</td> <td>5 地区</td> <td>5</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	2	5 地区	5	100.0%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。30年度の取組状況としては、候補地において住民等の景観への深い理解のもと、自らの基準づくりと継続的な景観まちづくり活動が望まれることから、地元への働きかけ等においては丁寧な説明等を行うなど、概ね計画通りに取り組んだ。</p>	<p>引き続き、市景観計画に位置付けられている候補地において地元との協議等を重ね、協働による取組を推進し、景観づくりに係る合意が図られた後には、地区の指定を目指す。 また、指定した地区における景観まちづくり活動団体等への支援を継続するとともに、関係部局と連携を図りながら、潤いある都市景観の形成に努める。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、潤いのある都市景観の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①地元住民との協働に向けて理解と協力を得ながら、景観形成重点地区の活用や効果的な広報を検討していただきたい。 また、②KPIについては、実績値が目標値に達しているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	2	5 地区	5	100.0%	a																				
23	3 まちの魅力 を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出  ①集客力・回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>16</td> <td>17.1 万人</td> <td>16.2</td> <td>18.2%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	16	17.1 万人	16.2	18.2%	c	<p>KPIの進捗については、あまり達成されていない。ハード面における観光路線未整備の影響のほか、天文館ミリオネーションなどのソフト面での集客力向上や、かごりんによる回遊性向上の取組の効果が、中心市街地の日常的な歩行者通行量の増としては未だ現れていないと考えられる。 路面電車観光路線については、基本計画策定委員会を開催し、今後の進め方等について協議を行ったほか、道路交通量調査などの基礎調査を行った。 天文館ミリオネーションについては、27年度から30年度までで延べ約79万人の来場があり、冬期の滞在型観光の振興に寄与したほか、中心市街地で開催されるイベントを支援することでまちなかのにぎわい創出を図った。 「かごりん」については、27年3月の事業開始から30年度末までで延べ613,448回の利用があり、まちなかの回遊性向上などに寄与した。</p>	<p>路面電車観光路線については、県の動向を踏まえながら基本計画策定に向けて取組を進める。 天文館ミリオネーションについては、天文館地区の飲食店や通り会などと連携したイベントの拡大に努めるなど、冬季イベントの風物詩として定着するよう取り組むとともに、中心市街地でのイベントの充実を図る。 「かごりん」については、まちなかの回遊性向上への効果が期待されるため、市民や観光客等による利用促進につながるよう、引き続きサイクルポートの設置検討や情報発信を行う等、さらなる利便性の向上に努める。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、集客力・回遊性の向上に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、引き続き、①まちなかを巡りやすい環境整備に努めるとともに、②地元商店街などの連携や、③再開発・リノベーション・路面電車観光路線の新設等との施策の連携を図り、イベントに頼らない取組を検討すべきである。</p>	B					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	16	17.1 万人	16.2	18.2%	c																				
24	3 まちの魅力 を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出  ②新たな都市拠点の形成	JR鹿児島駅の乗降客数  「かんまちあ」で開催されるイベント数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H24)</td> <td>121.4</td> <td>122.5 万人以上</td> <td>118.5</td> <td>-263.6%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>100 件</td> <td>172</td> <td>172.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H24)	121.4	122.5 万人以上	118.5	-263.6%	b		-	100 件	172	172.0%	<p>KPIの進捗については、概ね順調に推移している。30年度の取組状況としては、鹿児島駅周辺整備については、旧駅舎の撤去を行ったほか、かんまちあでのイベント件数が目標値を達成するなど、順調に進捗している。 また、本港区における集客力のある施設の整備促進については、県がグランドデザインを策定した。 さらに、中央町19・20番街区、千日町1・4番街区の再開発事業については、概ねスケジュールどおりに事業推進が図られている。</p>	<p>令和2年度に中央町19・20番街区、3年度に千日町1・4番街区及び鹿児島駅前広場の完成が見込まれることから、今後も、関係機関との協議、連携のもと、各取組の方針や計画に基づき、着実に事業を推進し、新たな都市拠点の形成を図り、まちなかのにぎわい創出につなげていく。 KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、新たな都市拠点の形成に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①地域住民やJR、沿線自治体と協働・連携した鹿児島駅周辺を生かした取組などを検討していただきたい。 また、②次期総合戦略においては、施策をより包括的に評価できるKPIの設定を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H24)	121.4	122.5 万人以上	118.5	-263.6%	b																				
	-	100 件	172	172.0%																					

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価														
			ひと・まちを多彩に「つなぐ」の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																
ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり (2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 (3)移住の促進 (4)都市間の交流・連携	国内外の交流都市数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H27) 21</td> <td>24以上</td> <td>都市</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H27) 21	24以上	都市	<table border="1"> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	24	100.0%	a	<p>数値目標「国内外の交流都市数」については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成や、ストックマネジメントの強化などにより、人口減少等を見据えた持続可能なまちづくりを進めるとともに、地域コミュニティの形成に取り組み、市民一人ひとりが力を発揮し、互いに支え合う温もりのある地域社会の形成が順調に進んでいるが、一方で、協働によるまちづくりにかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p> <p>また、移住希望者の多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進するほか、国際交流の推進や国内の都市との多様な交流・連携が順調に進んでいる。</p>	<p>協働によるまちづくりについては、計画期間の延長を踏まえたKPIの見直しを検討するとともに、引き続き、持続性と発展性を備えたまちを将来世代に引き継いでいくため、ひと・まちを多彩に「つなぐ」取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、ひと・まちを多彩に「つなぐ」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①それぞれの施策間の連携に努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値(H31=R元)	単位																		
(H27) 21	24以上	都市																		
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																		
24	100.0%	a																		

No.	適応戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標(KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																				
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																						
25	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合 公共交通不便地対策の実施地域数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H28) 68.7</td> <td>71.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>(H26) 12</td> <td>16</td> <td>地域</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H28) 68.7	71.0	%	(H26) 12	16	地域	<table border="1"> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	—	—	a	16	100.0%	a	<p>KPIの進捗について、「公共交通不便地対策の実施地域数」は、目標値を達成し、順調に推移している。なお、「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合」は、令和元年度に市民意識アンケート調査予定である。</p> <p>立地適正化計画及び公共交通ビジョンは、それぞれ策定・見直しを行い、推進協議会等を開催して進捗管理を行った。</p> <p>公共交通不便地対策は、小原地域、小野・伊敷地域の2地域において新たにコミュニティバスの運行を開始したほか、常盤地域、平川古屋敷地域の2地域において新たに乗合タクシーの運行を開始した。</p> <p>これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に資する取組の推進が図られた。</p>	<p>立地適正化計画では、届出対応等による住宅建築や誘導施設の動向把握を行うとともに、推進協議会等を開催しながら、計画の着実な推進を図る。</p> <p>公共交通ビジョンでは、関係事業者等と一体となって、公共交通を軸とした交通体系を構築するため、推進会議を開催し、施策の進捗状況の把握や調整等を行い、同ビジョンの推進を図る。</p> <p>また、公共交通不便地対策では、引き続きコミュニティバス・乗合タクシーの運行等を実施する。</p> <p>KPI「公共交通不便地対策の実施地域数」については、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①高齢者等の利用者に対して、地域・関係機関・事業所との連携による利用方法などの丁寧な周知広報に努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値(H31=R元)	単位																									
(H28) 68.7	71.0	%																									
(H26) 12	16	地域																									
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																									
—	—	a																									
16	100.0%	a																									
26	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ②ストックマネジメントの強化	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定・改定数 危険空き家の解体への助成件数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>5</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>(H26) 20</td> <td>144</td> <td>件(5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	—	5	件	(H26) 20	144	件(5年間)	<table border="1"> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>80.0%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>94</td> <td>65.3%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	4	80.0%	a	94	65.3%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、2件の個別施設計画の策定を行ったほか、空き家等対策、良質な住宅ストックとともに、これまで充実させてきた施策に取り組んだ。また、良質な住宅ストックの形成では、計画に基づいた既存市営住宅の建替、改善を実施した。</p> <p>団地再生では、29年度から団地再生推進庁内検討会を設置し、団地再生の手法や具体策について検討を進めており、30年度は、定量的な評価をもとに選定した団地で、住民アンケートや地域住民等とのワークショップ等を行うとともに、庁内検討会において具体策の検討を行ったほか、団地の基礎調査等や先進地調査を実施した。</p>	<p>公共施設等の計画的な更新・長寿命化については、引き続き個別施設計画の策定に取り組むとともに、空き家等対策の強化については、空き家等対策計画に基づき、目標達成に取り組む。また、29年度に見直した「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、建替や改善を実施するほか、民間住宅については、引き続き補助等の取組を進めることで、良質なストック形成の促進を図る。</p> <p>団地再生の推進については、地域住民等とのワークショップや庁内検討会により具体策の検討を行い、土地利用ガイドプランで団地核に位置づけている団地など29団地を対象とした団地再生計画を策定(令和2年度予定)する。</p>	<p>KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①団地再生計画の策定に向けて、市全体の将来的な都市ビジョンにも大きく関係することから、若い世代の意見も取り入れながら、活発な議論が交わされるよう努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値(H31=R元)	単位																									
—	5	件																									
(H26) 20	144	件(5年間)																									
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																									
4	80.0%	a																									
94	65.3%	a																									
27	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ①地域コミュニティの形成	地域コミュニティ協議会数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31=R元)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 3</td> <td>79</td> <td>団体</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31=R元)	単位	(H26) 3	79	団体	<table border="1"> <tr> <th>実績値(H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H30)</th> </tr> <tr> <td>78</td> <td>98.7%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H30)	対目標値	評価(H30)	78	98.7%	a	<p>KPIの進捗については、30年度に新たに3団体が設立され、29年度までに設立された75団体と合わせて78団体となり、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、既設の協議会のプラン策定等の活動を支援するとともに、市内全域での順次設立を支援している。</p>	<p>幅広い団体・世代が連携・協力してまちづくりに取り組んでいくよう、市内全域での協議会設立や協議会における地域コミュニティプランの策定、プランに基づく活動等を積極的に支援する。</p>	<p>KPIについては、地域コミュニティの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①若い世代の地域コミュニティへの参画について、官民一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>また、②地域コミュニティプランに基づく活動等に対する支援の成果を測るKPIについても検討していただきたい。</p>	A						
基準値	目標値(H31=R元)	単位																									
(H26) 3	79	団体																									
実績値(H30)	対目標値	評価(H30)																									
78	98.7%	a																									

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ②協働によるまちづくり	市内のNPO法人数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 396</td> <td>420</td> <td>団体</td> <td>395</td> <td>-4.2%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26) 396	420	団体	395	-4.2%	c	<p>KPIの進捗については、基準値からほぼ横ばいであり、あまり達成されていない。</p> <p>全国的にNPO法人数の増加は鈍化傾向(28年度は約600法人、29年度は約300法人の増加)となっていたが、30年度には、平成10年の特定非営利活動促進法の施行以来、初めて減少に転じた。</p> <p>本市も同様の傾向となっており、29年度は減少に転じ、30年度も16法人が設立、1法人が他市より転入、15法人が解散し、横ばいとなっている。</p> <p>30年度の取組状況としては、市民活動団体の組織運営・企画立案のノウハウの習得の支援や、NPO・企業・行政などの多様な主体の連携の促進などの取組を進めている。</p> <p>また、30年度に実施した市民活動に関する実態調査では、NPO法人が抱える課題が明らかになったので、これを踏まえ、支援のあり方などを検討したところである。</p>	<p>今後とも、市民活動団体の育成支援や多様な主体による連携促進を図るとともに、市民活動団体の情報を市としても積極的に発信していくなど、市民活動促進のための取組を強化していく。</p> <p>KPIについては、実態調査の結果やこれまでの進捗、計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、協働によるまちづくりに向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>施策の推進にあたっては、①30年度に実施した市民活動に関する実態調査の結果を生かした丁寧なフォローアップにより、既存のNPOの活動がより活発になるよう取り組むべきである。</p> <p>また、②NPOの活動実態を踏まえた支援などに焦点をあてるKPIを検討すべきである。</p>	B					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26) 396	420	団体	395	-4.2%	c																				
29	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3)移住の促進	本市への移住相談件数 本市の関連施策を通じた移住者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>100</td> <td>件/年</td> <td>154</td> <td>154.0%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H28) 17</td> <td>50</td> <td>人</td> <td>33</td> <td>66.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	100	件/年	154	154.0%	a	(H28) 17	50	人	33	66.0%	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、引き続き、移住PR用動画及びパンフレットを活用するなどして、本市の魅力や生活環境の情報を発信するとともに、新たに移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者のニーズに合わせたきめ細かな情報提供や相談対応、移住後のフォローアップ等の支援を行ったほか、東京や大阪などでの移住関連イベントにも参加し個別相談を行うなど、相談体制の充実を図り、本市への移住促進に向けた取組を推進した。また、連携中核都市圏4市で連携し、圏域への移住促進を図った。</p>	<p>令和元年度は、ポータルサイトの新設やふるさと回帰支援センターへの入会などにより、本市の生活環境や魅力の効果的な情報発信等の取組を強化するとともに、引き続き、移住支援コーディネーターによるきめ細かな相談対応や移住関連イベントへの参加などにより相談・フォローアップ体制の充実を図り、幅広い世代の本市への円滑な移住を促進する。</p> <p>KPI「本市への移住相談件数」については、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①移住支援コーディネーターを中心に、移住希望者のニーズの把握と移住後のフォローアップ体制の充実のほか、②移住に至らなかった方々の理由等を把握し、それを解決できるような対応を検討していただきたい。</p> <p>また、③KPI「本市への移住相談件数」については、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
—	100	件/年	154	154.0%	a																				
(H28) 17	50	人	33	66.0%																					
30	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携 ①国際交流の推進	国際交流事業への参加者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 11,523</td> <td>12,700</td> <td>人</td> <td>13,931</td> <td>204.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26) 11,523	12,700	人	13,931	204.6%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>市の実施事業、市国際交流財団事業とともに、青少年を含む人材育成や、多文化共生の地域づくり等市民主体の幅広い国際交流に関する継続した取組を行うことで、KPIが基準年の26年度と比較して伸びており、市民レベルの国際交流の促進が着実に図られた。</p>	<p>引き続き、姉妹友好都市をはじめとする多くの国々の都市との多彩な交流の推進、次代を担う国際性豊かな人材の育成、市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組等をさらに推進するほか、本市における“アジアの日常化”に向け、未来を担う子ども・若者をターゲットの一つとし、多文化共生の推進も主な取組として盛り込んだアジア戦略を官民連携して推進する。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、国際交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①子どもたちの国際交流に引き続き取り組むとともに、②姉妹友好都市であることを日常生活の中で目にする形で市民意識や認知度を高める取組を、引き続き強化していただきたい。</p> <p>また、③KPIについては、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26) 11,523	12,700	人	13,931	204.6%	a																				
31	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携 ②国内の都市との多様な交流・連携	都市間連携に係る実施事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 19</td> <td>25</td> <td>件</td> <td>23</td> <td>66.7%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26) 19	25	件	23	66.7%	b	<p>KPIの進捗については、概ね順調に推移している。</p> <p>30年度の取組状況としては、本市と観光や文化を通じた交流協定を結ぶ札幌市・松本市・本市の3市長によるトークライブの開催や、友好交流に関する盟約を結ぶ萩市との明治維新150周年を記念した農林水産物のPR事業を実施した。また、各都市のイベントへの相互参加、合同観光PR、職員の人事交流などを引き続き行った。</p>	<p>各都市と本市の個性や共通点などを把握したうえで新たな連携事業の創出を検討し、具体的な予算化を目指すとともに、連携の効果が市民に伝わるよう機会を捉えた周知広報に努める。</p> <p>また、官民の連携した取組についても、観光や産業、環境の分野などにおいて、引き続き検討を行う。</p>	<p>KPIについては、国内の都市との多様な交流・連携に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①都市交流が広く認識されるように、市民が積極的に参加できるような交流事業の定期的な実施などの工夫を検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26) 19	25	件	23	66.7%	b																				

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
32	1 世界基準の観光地域づくり	(1)世界に誇りうる地域資源の活用、(2)外国人観光客の誘致・受入体制の整備	外国人宿泊観光客数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>万人</td> <td>38.8</td> <td>191.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	12	万人	38.8	191.4%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。30年度の取組状況としては、世界文化遺産については、案内所の設置など、受入体制の充実が図られた。また、ジオパークについては、世界ジオパーク認定に向け、始良市、垂水市へのエリア拡大に向けた取組や、霧島ジオパークとのエリア統合に係る協議を行ったほか、国際交流・国際貢献の取組を進めた。</p> <p>コンベンション協会については、組織・人員体制の充実を支援し、DMOプランの作成等を推進した。また、外国人観光客の誘致・受入体制の整備については、市場に応じた効果的なプロモーション等を行うとともに、外国人観光客のニーズに応じた受入体制の整備を行った。</p>	<p>世界文化遺産とジオパークの相互連携による一体的な情報発信や活用など、効果的な事業の推進を図るとともに、戦略的なプロモーションを引き続き実施していく。</p> <p>観光プロモーションについては、さらに広域的に関係自治体との連携も含めた取組を進めるとともに、外国人観光客の受入体制の整備については、引き続き、民間の取組に支援を行うなど、効果的に取り組む。</p> <p>KPIについては、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、世界基準の観光地域づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①外国人観光客のニーズや属性等の把握・分析、②受入体制の充実や③関係機関と連携した就航路線の開拓などによる外国人宿泊観光客数のさらなる増加に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、④次期総合戦略においては、国際情勢の動向等を注視しながら、KPIの設定を検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	12	万人	38.8	191.4%	a																				
33	2 健“高”医“良”都市の創造	(1)健康と生きがいを実感できる市民生活の提供	<p>新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数</p> <p>介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>事業者 (5年間)</td> <td>50</td> <td>76.9%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>51.7</td> <td>%</td> <td>55.9</td> <td>110.5%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	8	事業者 (5年間)	50	76.9%	a	(H26)	51.7	%	55.9	110.5%	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。30年度の取組状況としては、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出の促進をはじめ、「生涯活躍のまち」を形成する事業主体の支援、高齢者の相談・支援体制の構築や地域で介護予防活動を展開する団体の支援等のほか、市立病院では地域医療支援病院として、他の医療機関との連携や地域で必要な医療を確保するための医療機関相互の機能分化を推進するなど、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、着実に取組を推進した。</p>	<p>引き続き、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出を図るため、関係機関と連携しながら、ビジネスアイデアの創出とその事業化支援に取り組む。</p> <p>「生涯活躍のまち」形成に向け、引き続き、喜入地域における事業主体の取組を支援するとともに、その取組の情報発信に努めながら更なる事業の波及を目指して、新たな事業主体を募集・選定する。</p> <p>地域包括ケアの中核的役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの一体的な提供体制の充実・強化を図るとともに、令和元年度は「よかよか元気クラブ」の活動に対し、県補助金を活用したポイントを付与するなどして地域で活動する団体を増やし、継続した活動ができるための支援を行う。</p> <p>市立病院では地域医療支援病院として、地域の医療機関との医療連携や相互の機能分化を推進するため、医療機関への訪問等の取組を充実していく。</p> <p>KPI「介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合」については、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPIについては、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①「生涯活躍のまち」の他地域への導入に向けて、喜入地域における事業主体の支援に努めていただきたい。</p> <p>また、②KPI「介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合」については、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	8	事業者 (5年間)	50	76.9%	a																				
(H26)	51.7	%	55.9	110.5%																					
34	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(1)大学との連携強化	<p>市内大学生の県内就職率</p> <p>市内6大学との新規連携事業・取組数</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>61.7</td> <td>%</td> <td>57.1</td> <td>-57.5%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>34</td> <td>件 (3年間)</td> <td>33</td> <td>97.1%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	61.7	%	57.1	-57.5%	c	—	34	件 (3年間)	33	97.1%	<p>KPIの進捗については、あまり達成されていない。なお、「市内大学生の県内就職率」については、社会経済情勢や雇用環境、他県出身の卒業生の地元回帰など諸要因もあり、基準値を下回った。30年度は、新たに、市内大学の学生を対象に課題解決型インターンシップとして「まちづくり“未来の担い手”育成事業」を実施したほか、「若者未来会議」を開催し、学生が本市の現状や課題、その解決策を考えるきっかけになるとともに、鹿児島への愛着心の醸成、人材育成、若手社会人とのネットワーク形成につなげることができた。</p> <p>また、各大学とのその他の連携事業・取組についても、充実・深化を図った。</p>	<p>令和元年度は、まちづくり“未来の担い手”育成事業の一環として、次期総合計画の策定に向けた取組への学生の参画を進めるほか、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組をさらに充実・深化させる。</p> <p>KPI「市内大学生の県内就職率」については、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえた見直しを検討する。</p>	<p>KPI「市内6大学との新規連携事業・取組数」については、大学との連携強化に向けて十分に達成されている一方、「市内大学生の県内就職率」については、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>施策の推進にあたっては、①市と大学等の連携した取組を通じた人材育成のほか、②出身地別の県内就職率等の把握による施策を検討すべきである。</p> <p>また、③KPI「市内大学生の県内就職率」については、社会経済情勢等の影響を受けるため、KPIの見直しを検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	61.7	%	57.1	-57.5%	c																				
—	34	件 (3年間)	33	97.1%																					
35	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(2)ふるさと教育の推進	郷土教育に係る体験活動の実施率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>90.6</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	(H26)	90.6	%	100	100.0%	a	<p>KPIの進捗については、全ての小・中学校で郷土教育に係る体験活動を実施しており、順調に推移している。</p> <p>「かごしま創志塾・ジュニア創志塾」では、郷土の歴史・文化、明治維新で活躍した先人たちの高い志と行動力について学ぶカリキュラムを実施し、郷土に対する愛着心の育成や卒業生・現職生のネットワーク構築、プログラムの周知強化に努めた。</p> <p>職場体験活動では、全ての中学校で実施しており、生徒の希望に沿うよう、受入企業等の開拓に努めた。</p>	<p>今後とも、郷土教育に係る体験活動を推奨するとともに、各学校において確実に実施するよう指導を継続する。</p> <p>また、「かごしま創志塾・ジュニア創志塾」の実施にあたっては、必要に応じてカリキュラムの見直しを行うほか、同窓会の充実や卒業後のさらなる成長に役立つ学習機会に関する情報提供等、卒業生相互のネットワーク構築と活躍の場づくりに取り組む。</p> <p>職場体験活動では、これまで以上に働くことの意義や喜びなどを学べる活動内容を充実するよう指導を継続する。</p>	<p>KPIについては、ふるさと教育の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①「かごしま創志塾」の卒業生のネットワーク構築のほか、②ふるさと教育について将来的な地元貢献につながるよう引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>また、③実施件数や参加者数の増加を目指すようなKPIについても検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)																				
(H26)	90.6	%	100	100.0%	a																				

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成30年度まで)	今後の方向性(考え方)														
36	4 連携中枢都市圏の形成	(1)圏域全体の経済成長のけん引、(2)高次の都市機能の集積・強化、(3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上	連携事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31=R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H30)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>25</td> <td>事業 (5年間)</td> <td>23</td> <td>92.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)	—	25	事業 (5年間)	23	92.0%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。 また、未実施事業についても、事業実施に向けた検討を行い対応方針を整理するとともに、4市の幹事会やビジョン懇談会、市長会議を開催するなど、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進行管理を図った。</p> <p>引き続き、連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、検討中の連携事業やビジョンに掲載していない新たな連携事業については、実施に向けて積極的に検討・協議を行うなど、連携中枢都市圏の着実な推進を図る。</p>	<p>KPIについては、連携中枢都市圏の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①県都や南九州エリアの中核都市としての高い視点から、隣接3市をけん引しながら、市民が認識しやすい利便性の向上や連携の効果が高い事業の実施を着実に進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31=R元)	単位	実績値 (H30)	対目標値	評価 (H30)														
—	25	事業 (5年間)	23	92.0%	a														